

以前、地元の小学生から、eメールによる質問で、「どうしてアメフラシはアメフラシという名がついたんですか」というのがあった。「梅雨どきに沢山現れるからかなあ」と思っていたが、念のため調べてみるとどうやらそれだけではない。アメフラシは押すと紫色の汁を出す。これが水中では雨を降らすようだから、アメフラシを含むウミウシの仲間は、巻貝の類

食われない。にも関わらず、アメフラシを食つたとか食わせたとかいう話をあちこちで聞く。アメフラシは珍重して食べる地方もある。島根県の隠岐諸島では、茹でて毒抜きしたアメフラシは祭りの料理に欠かせないのだそうだ。かく言う我が水産実験所でも、以前、市内の某国営施設の食堂に勤めていた折、職場の先輩が興味半分でアメフラシの刺身を作つてくれたそうだ。我が友人

アメフラシ

まさに、欲望の権化！

若狭湾水中散歩

京大水産 実験所 益田 玲爾

14

が進化して、殻を失つたものは、殻を持ついないのはいかにも無防備だが、体の中に毒を蓄えているので、そう簡単には

はそれに「わさびと醤油をつけ、よく噛んで食したところ、三日間ほど口の中がしびれた」とい

う。今日は特別な日だから、お前たちにアワビを食べさせてやる」と言つて食べさせていたものだ。アメフラシは舞鶴あたりだと五月頃盛んに交尾をして、梅雨時には細麺のラーメンのように連なる卵の塊を産む。小学生の頃、これを初めて見た筆者には、ケーキのモン

駆られた。

写真のアメフラシは、

る。

そして後ろの個体は

ちょうど文尾をしている

といえ、ときおり糞ま

ところだが、同時に手前

で排泄している。まさに、

の個体は盛んに海藻のア

欲望の権化！



長浜の水深1mで観察されたアメフラシ。体長25cmおよび30cm。